

## 国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	レスリング競技における脳振盪受傷状況の解明
倫理審査委員会承認番号	2021-006
研究開始日	2021年5月13日
研究終了日	2024年3月31日
研究目的	脳振盪の予防を検討する上で、受傷状況を詳細に把握することが重要であり、そのために映像記録を用いた分析が行われるようになってきていますが、レスリングにおいては詳細な分析は行われていません。本研究では、映像分析手法を用いて、レスリングにおける脳振盪の発生率や発生状況を明らかにし、脳振盪予防策の一助とすることを目的としています。
研究対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会に出場するレスリング選手（男女）</li> <li>・高校生または16歳以上の選手</li> </ul>
研究概要	研究の事前準備として、公益財団法人日本レスリング協会医務委員会が管理している、大会の外傷・障害調査記録を参照し、脳振盪の発生頻度を算出します。その上で、実際に試合が開催されるレスリング場で、レスリングマット（直径9メートルの円形）が4方向から撮影できる位置にカメラを設置し、それぞれのカメラにより得られた4方向の映像を分析します。分析映像から、脳振盪になったと思われるシーンを特定し、選手の年代や種目、階級、受傷時のプレー、試合時間の中での受傷のタイミング、受傷した場所などから分類します。また、脳振盪になったプレーと、なっていないプレーを比較します。その上で、レスリング競技において脳振盪発生率の高いプレーを明らかにし、脳振盪予防策の考案に役立てます。
研究に用いる情報の種類	氏名、傷害名
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本研究の資金源は、スポーツ庁受託事業女性アスリートの育成支援・育成プロジェクトです。</li> <li>○本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。</li> </ul>
研究責任者	中嶋耕平・スポーツメディカルセンター
研究分担者	大伴茉奈・スポーツ科学部 鈴木啓太・筑波大学
問合せ先	大伴茉奈・スポーツ科学部 電話：03-5963-0231 E-mail：mana.otomo@jpnssport.go.jp